

■熊本市水の科学館あり方調査業務委託 評価項目

評価点の目安

10点配点		
10点	非常に優れている	実現性のある内容が記載されており、その内容が熊本市にとって非常に有効である。
8点	優れている	実現性のある内容が記載されており、その内容が熊本市にとって有効である。
6点	普通	実現性のある内容が記載されている
4点	劣っている	内容は記載されているが、具体性や実現性の点で疑問がある。
2点	非常に劣っている	内容は記載されているが、具体性や実現性の点で非常に疑問がある。
0点	記述なし	内容が記載されていない。

評価項目		評価視点	配点
業務実施体制・スケジュール (配点20点)	業務実施体制	基本仕様書で定めた業務内容等を十分に踏まえ、業務が着実に行われることが見込める場合は、優位に評価する。	10
	スケジュール・協議	基本仕様書で定めた各業務に対し、具体的なスケジュールが示されており、また、月1回会議や随時協議を円滑に進めるための体制・連絡方法・資料提出手順が具体的に示されていれば優位に評価する。	10
経験・実績 (配点10点)	経験・実績	過去10年間に、公共施設(特に学習施設等)の新築・増築・又は大規模改修に関する計画策定などの類似業務を複数経験している場合やその業務が来館者の増加に繋がった実績等があれば、優位に評価する。	10
提案内容 (配点70点)	水の科学館が担う役割の整理	水の科学館の特性、市民・学校利用実態、広報・教育・情報発信拠点としての役割を導くための整理方針、年間来館者数20万人の目標に対する方針が明確に示されていれば優位に評価する。	10
	施設の劣化状況整理・概算改修費算定	建築・設備・展示物に対する調査方法および概算改修費を算定するための考え方が具体的かつ妥当性をもって示されていれば優位に評価する。	20
	展示スペースのリニューアルに向けた事例収集	他都市事例の選定理由、比較観点、展示更新の方向性、概算更新費の算出方法が合理的に示されていれば優位に評価する。	10
	施設整備方針の検討(複数案整理)	改修・建替・随時修繕等の複数案を比較するための枠組み、また、水の科学館の役割・今後のあり方や、工程・閉館期間等の提案方法を具体的に示されていれば優位に評価する。	20
	報告書作成	中間報告と最終報告の構成、費用・到達点・工程・リスクを一体的に整理する方法がわかりやすく示されていれば優位に評価する。	10
合計(縦)			100